

P4-CC-02K-04T

接続可能な画像処理装置・画像入力ボード

FVC07CLB

サポートする機能

取り込みモード名称 (ファースト呼称)	対応カメラ機能名称	備 考
ノーマル (通常) 入力	Internal Trigger	露光時間はカメラコントロールソフトウェアを使用するか、シリアル通信にて設定
トリガ入力	External Trigger	露光時間はソフトウェア設定 (パルス幅)

留意事項

- カメラのモード設定はカメラリンク I/F を通して行われます。
- 指定のない設定項目については工場出荷設定で使用可能です。
- カメラメーカーの提供するカメラコントロールソフトウェア “CamExpert” を使用するか、弊社ライブラリ製品に用意された通信用 API 等を使用して設定を行う必要があります。
- 本説明書とカメラメーカーが提供するマニュアルを参考に設定を行って下さい。
- 通信用 API の詳細についてはライブラリ製品の説明書・ヘルプ等を参照して下さい。
- 本カメラは、設定をシリアル通信にて行う場合、最初に ASCII 制御コードの「ESC」を送信する必要があります。
- 通信コマンドにて小数点の入力を行う際には、パラメータ値の前に「f」を付けて下さい。
- 「ESC」を送信した後、“CamExpert” を使用する場合は、カメラの電源を入れ直すか、カメラのリセット(コマンド RC)を行う必要があります。

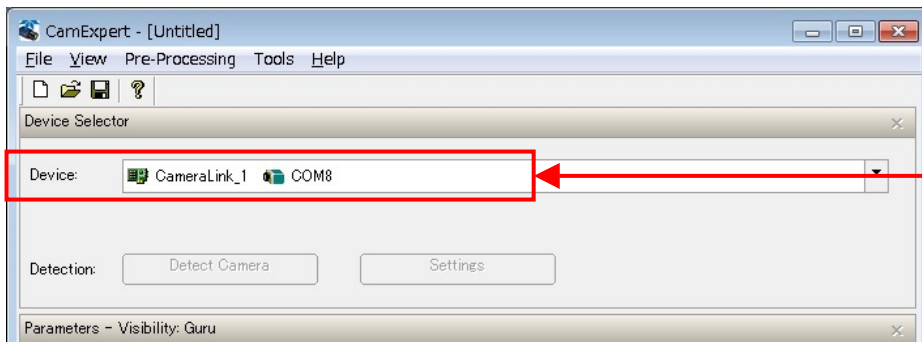
詳細な設定方法およびカメラ仕様につきましては、Teledyne DALSA 社様より提供される取扱説明書「Piranha4 Camera User's Manual Color 2k and 4k」を参照してください。

以下、メーカー提供のカメラコントロールソフトウェア “CamExpert” を使用した場合の設定、及び、通信コマンドを示します。

通信の設定

- ・カメラコントロールソフトウェア

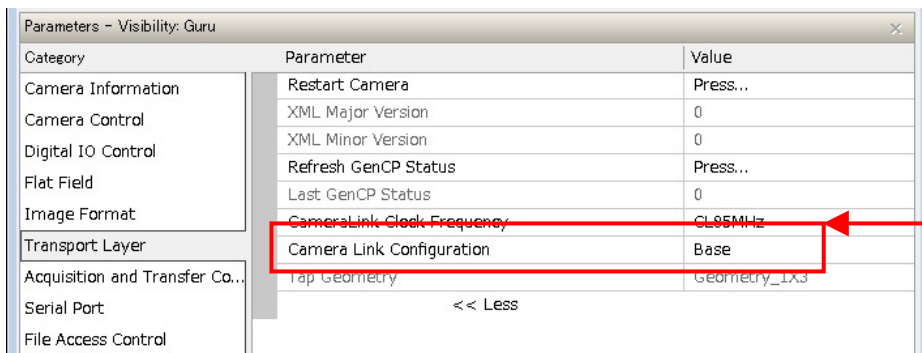
COMポート選択



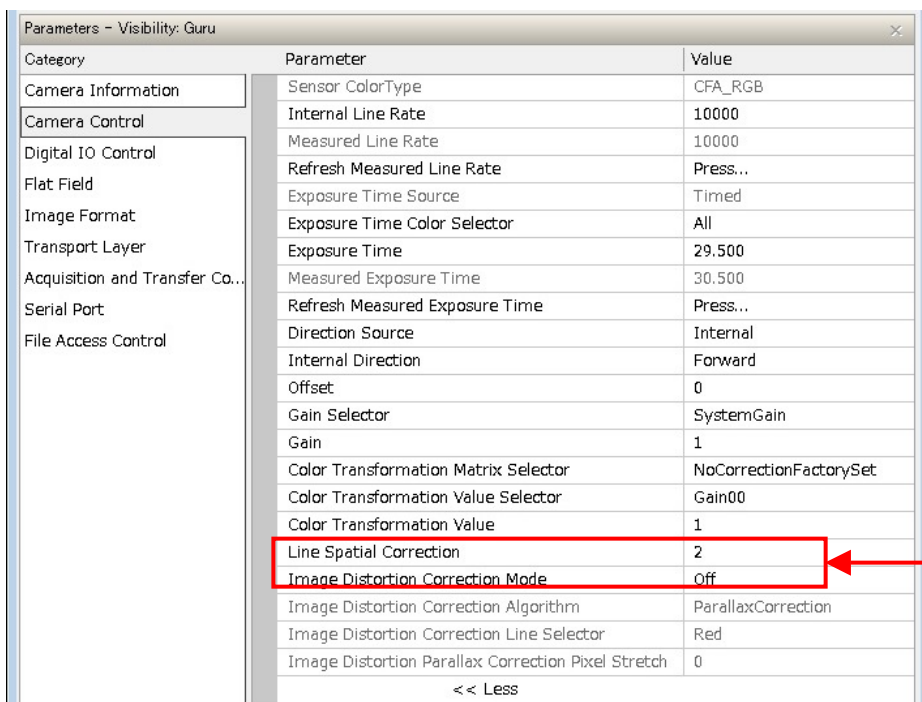
COMポート設定
→割り当てたポートの設定
に合わせる

各モード共通の設定

- ・カメラコントロールソフトウェア



カメラリンクモード設定
→「Base」に設定



ラインディレイ設定
→任意に設定

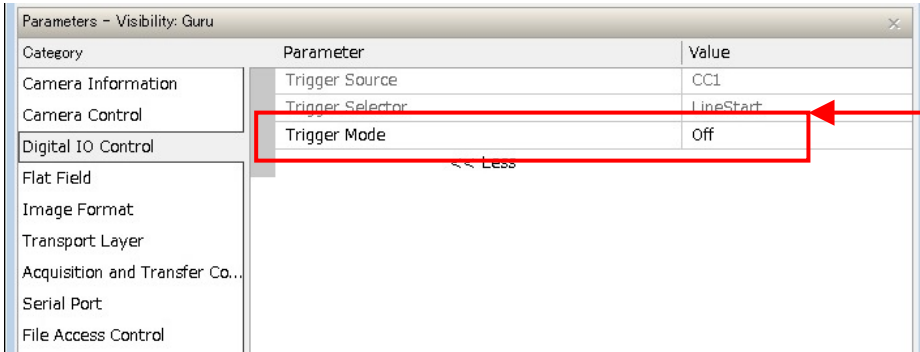
・通信

コマンド	設定項目	説明
CLM	カメラリンクモード設定	「0:Base」に設定
SSA	ラインディレイ設定	任意に設定「0~6、デフォルト:2」

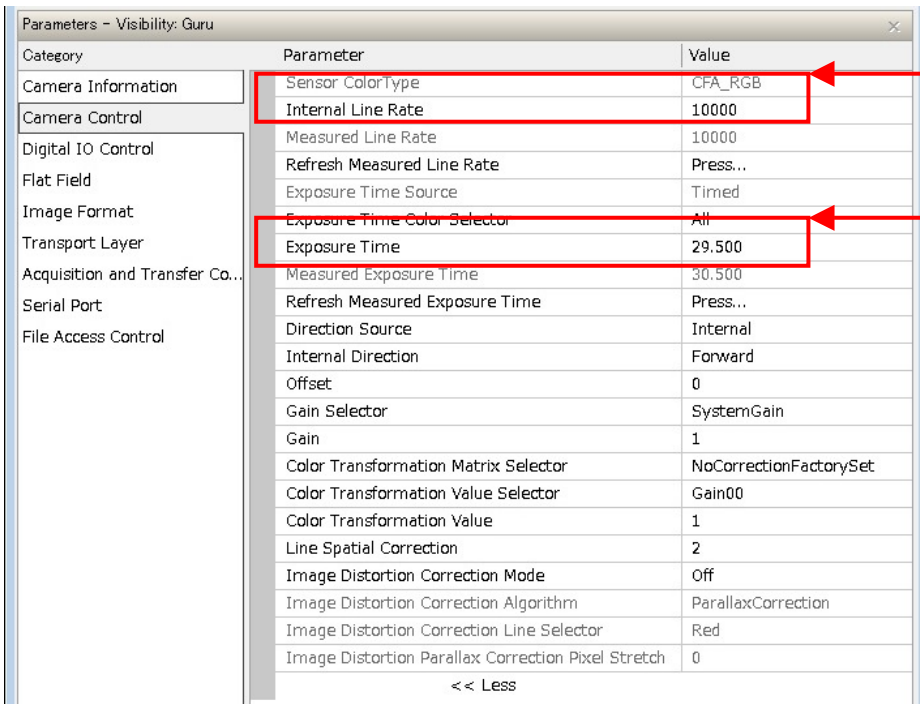
取り込みモードに依存する設定

○ノーマル入力の場合

・カメラコントロールソフトウェア



トリガーモード設定 ※1
→「Off(デフォルト)」に
設定



ラインレート設定
→任意に設定

露光時間設定
→任意に設定

※1 「Exposure Time Source」が「Timed」でなければ変更できません。

・通信

コマンド	設定項目	説明
STM	トリガーモード設定 ※2	「0:Internal (デフォルト)」に設定
SET	露光時間設定 ※3	任意に設定「7000~3000000(ns)、デフォルト:29500」
SSF	ラインレート設定 ※4	任意に設定「1~41025(Hz)、デフォルト:10000」

※2 「Exposure Mode(コマンド SEM)」が「0:Internal」でなければ変更できません。

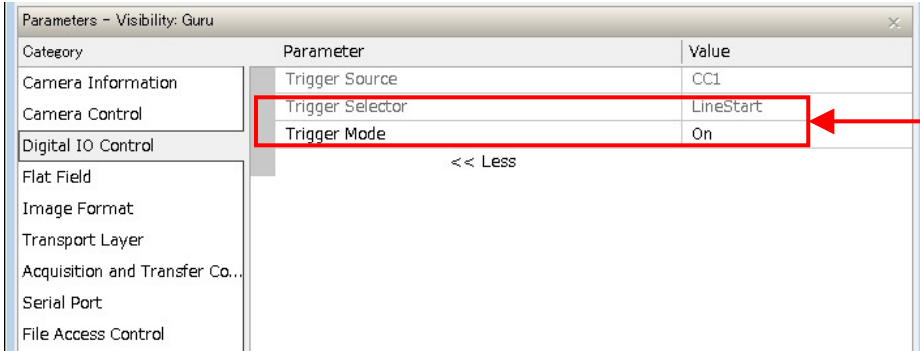
※3 最速で取り込みを行う場合は、「22800」以下に設定する必要があります。

※4 最速で取り込みを行う場合は、「41025」に設定する必要があります。

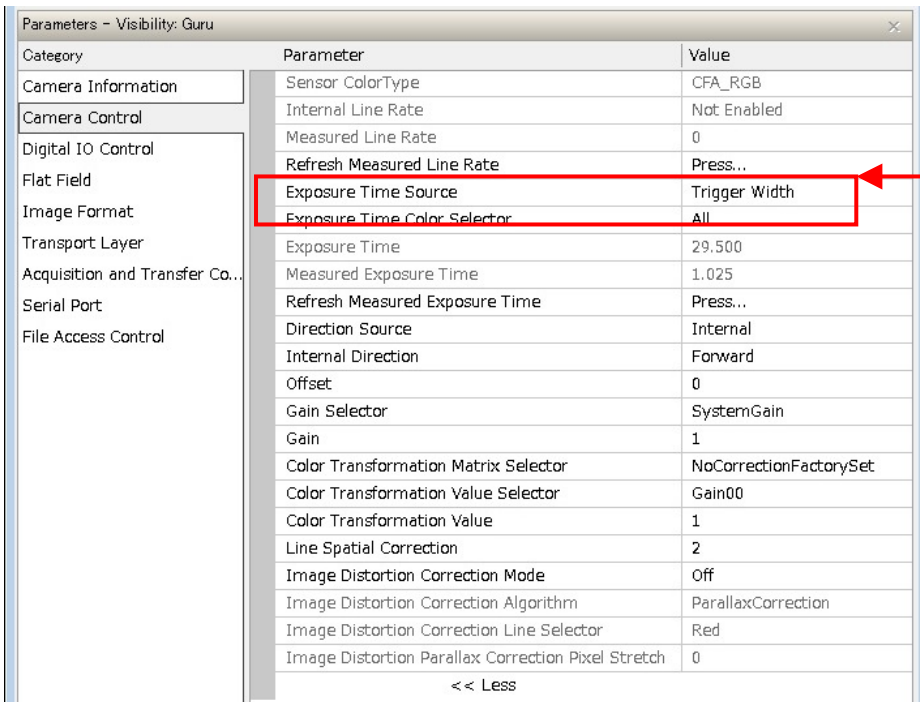
なお、露光時間+1500[ns]以下のラインレート時間には設定できませんので、先に露光時間の設定を行って下さい。

○トリガ入力の場合

・カメラコントロールソフトウェア



トリガモード設定
→ 「0n」に設定



露光モード設定 ※5
→ 「Trigger Width」に設定

※5 「Trigger Mode」が「0n」でなければ変更できません。

・通信

コマンド	設定項目	説明
STM	トリガモード設定	「1:External」に設定
SEM	露光モード設定 ※6	「1:External」に設定

※6 「External Trigger(コマンド STM)」が「1:External」でなければ変更できません。